



# Library Liébana

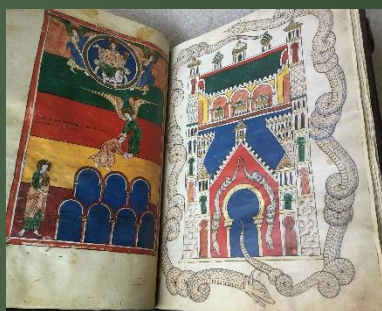
## 2023年2月度展示内容のお知らせ

### 【今月のベアトゥス写本】

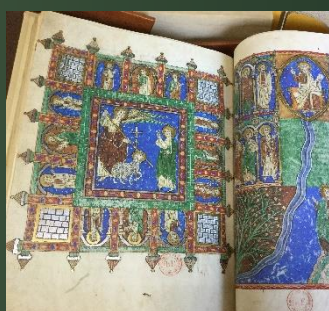
今月は、中世に作られた写本の中で大きな写本を紹介します。ベアトゥス写本から5点 ベアトゥス写本以外から3点を展示します。



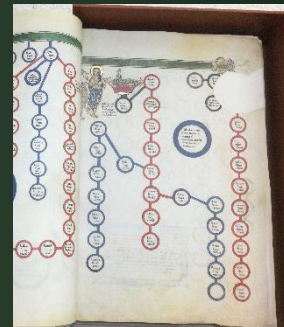
(ラス・ウェルガス写本 1220年) 52cm×36cmと一番大きな写本です



(マンチェスター写本 1175年頃) 45cm×33cmの大きさ



(アロヨ写本 13世紀前半) 44cm×31cmの大きさ

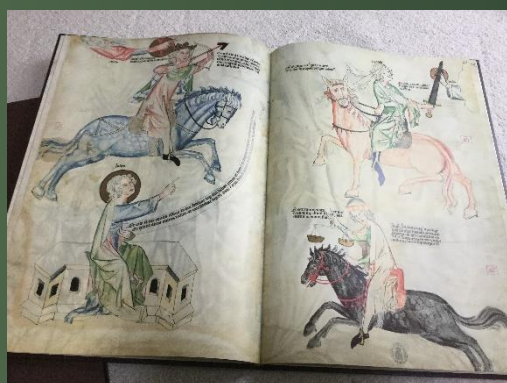


(カルデニャ写本 1175-85頃) 45cm×30cmの大きさ

### 【ベアトゥス写本以外の写本】



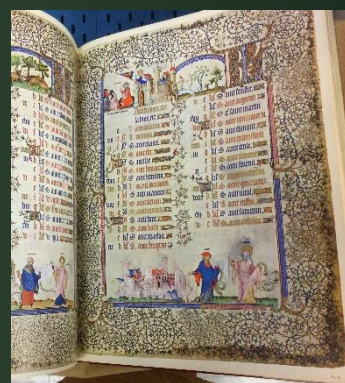
(モーガン写本 10世紀半ば頃) 39cm×29cmの大きさ



(貧者の聖書と黙示録写本 1340-50年) 48cm×33cmの大きさ



(トリニティ黙示録写本 1230-50年) 44cm×32cmの大きさ



(ベリー候の大時禱書 1409年) 40cm×30cmの大きさ

当時羊皮紙は高価であったが、これだけ大きいものを用意することはそれだけで大変なお金が掛かったと思われます。

## ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

Google Map



愛知県豊田市西町5丁目5  
VITS豊田タウン B1F  
毎週日曜日 10:30~17:30

2月の開館日(予定)  
日・水・木・金曜日  
(HPで確認下さい)

ファクシミリ本とは：  
オリジナル写本の大きさや色を再現。  
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に  
再現した複製本も多数展示しています。



H.P.



Instagram



							2月
日	月	火	水	木	金	土	
29	30	31	1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	1	2	3	4	

12日(日)、26日(日)はお休み、  
3日(金)、24日(木)は午後から  
です

# ベアトウスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトウス(ベアト Beato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトウス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22 写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

## 今月の展示写本

中世に制作されたもので残存する写本の一番大きなものは『ギガス写本』と呼ばれている13世紀初頭に作られたといわれる写本で、大きさが縦92cm×横50cmの巨大なものです。310葉の羊皮紙からなり75kgの重さがあります。伝説では、誓いを破り監禁された修道僧が刑罰を逃れるため、一晩でこの写本を作成することを誓った。しかし真夜中ごろになって誓いを守れそうにないことが明らかとなり、彼は墮天使ルシファーに、自身の魂と引き換えに本を完成させてほしいと願った。悪魔は写本を完成させ、その修道僧は感謝の意を表すために悪魔の絵を追加したそうである。悪魔の絵は290枚目の7フォリオに描かれている。



当ライブラリーにあるファクシミリ本(簡易版含む)で大きなものは以下の通りで、そのうち色付けの8点を展示します。

		縦 mm	横 mm	面積 cm <sup>2</sup>	全体	
ベアトウス写本	1	ラス ウェルガス写本	520	364	1893	1
	2	マンチェスター写本	454	326	1480	3
	3	アローヨ写本	440	305	1342	5
	4	カルデーニャ写本	445	300	1335	6
	5	モーガン写本	387	285	1103	8
	6	ウルジェイ写本	400	270	1080	
	7	コゴリーヤ写本	380	280	1064	
	8	ジローナ写本	400	260	1040	
	9	サン・スヴェール写本	365	280	1022	
	10	ファクンドゥス写本	360	280	1008	
その他		貧者の聖書 黙示録写本	480	330	1584	2
		トリニティ黙示録	435	320	1392	4
		ベリー侯の大時禱書	400	300	1200	7
		交唱聖歌集楽譜	665	475	3159	
	ギガス写本	920	500	4600		

モーガン写本を除いて遅い時期の写本が多いです。

## 【ラス・ウェルガス写本】

ベアトウス写本群で一番大きな写本です。13世紀初めとベアトウス写本の中でも遅い時期に制作された写本。ヨハネの黙示録に関する約70点の挿絵とダニエル書の聖ヒエロニムスによる解説に伴う10点の挿絵を含む。

## 【マンチェスター写本】

先のラス・ウェルガス写本やアローヨ写本、カルデーニャ写本と共に同じ系統の写本で、同じような時期に制作されている。110点の挿絵が金銀で鮮やかに彩られています。

## 【アローヨ写本】

ラス・ウェルガス写本同様王家の注文によって制作されたもので、金箔・銀箔を随所に用いた豪華さが目を引く。

## 【カルデーニャ写本】

51点におよぶ細密画は極めて美しく、本書の製作に関わった装飾画家たちの技術の高さと繊細さ・緻密さを物語っており、赤・青・緑の色調が金箔の輝きと一体化した活気のある鮮やかな図像と、熟練した写字生による文章とが完璧な調和を作り出している。

## 【モーガン写本】

先の4点がベアトウス写本群の後期写本であるのに対して、モーガン写本は最初期の写本群の一つであり、当時としては大きな写本であったことがわかる。

挿絵に枠取りをして、画面の地を幾つかの帯状色面で抽象的に処理する手法は、輝くばかりの色彩効果や破綻なく図像をまとめ上げる構図上の機能などにおいて、以降の写本の手本になったといえる写本。

## 【ベアトウス写本群以外の大きな写本】

### 【貧者の聖書 黙示録写本】

一般的な「貧者の聖書」に黙示録を加えたもの。10葉に貧者の聖書が、11葉に黙示録が描かれており、最後に再度磔刑図が描かれている。

### 【トリニティ黙示録写本】

当時の写本としては大判(435×320)の写本で、豪華絢爛に彩色されていることから、高貴な身分の人に献呈されたと考えられる。

### 【ベリー公の大時禱書】

大変な写本愛好家であったフランス ベリー侯が制作・所有していた写本で、400×300という大きさは時禱書としては異例である。

### 【交唱聖歌集楽譜】

教会や修道院で聖歌を歌うために作られた楽譜。多くの場合、複数の歌い手が同時に見ることができるよう大判となっています。